

昨年に続き2度目の「たのもさん」への参加。今年は地域間交流事業として、運営協議会の協力を得てセンター号を製作しました。

さて、この「たのもさん」は旧宮島町南町地区に古くから伝わる祭りです。昔『神の島宮島』では土地を耕す事を禁じられ、島民たちは農作物を対岸に頼っていました。そこで人々は、感謝を込めて小舟を造りお供え物を乗せて対岸に向けて流しました。この気持ちが祭りとなり今に受け継がれているのです。一昨年には国の無形文化財に指定され、参加者も増加傾向とのことです。

旧暦の8月1日（今年は8月29日）19時、紅葉谷公園内にある四宮神社へ、参加者は趣向を凝らした「たのも船」を持って集まります。参加者の中には宮島学園児童の皆さんや、「大野の風」の方もいました。「大野の風」は宮島を学ぶ会を主催され、その一環としてこの祭りに参加をされたそうです。そこでお祓いを受けた「たのも船」を持ち、満潮時刻に合わせて海岸へ移動し、提灯へ火を灯します。静かな夜の海面へ下ろされた色とりどりの船が大鳥居へ向かって粛々と進んで行く様は、素晴らしく幻想的で観る者を魅了する光景です。

センター号も出航し、潮の流れに乗って大鳥居をくぐるはずでした。が、今年は（舵も取り付けただのに）風に流されて、リニューアルされた水族館「みやじマリン」に向かって流れて行きました。航跡を見守った情報部員たちは、三度目の正直をめざしてまた来年の参加を心に誓い、夜の宮島を後にしました。



運営委員会の皆さんと一緒に作り上げたセンター号紙粘土で作ったスイーツや海産物が参加者や観光客の目を引いていました。



山陽自動車道大野ICより、中津岡川沿いの道を約6キロ北上していくと、「大野自然観察の森」があります。ここは自然に対する愛情や理解を深めるためのネイチャーランドとして造られました。

県の天然記念物、ベニマンサクが全国で類を見ないほどたくさん自生しています。また、動植物、昆虫などを間近に観察できるように、観察小屋、水辺の道、自然観察路、学習広場などが整備されています。水辺には「モリアオガエルの池」や「ハッチョウトンボの湿地」もあり、より深く観察できるような工夫がされています。取材に訪れた時はモリアオガエルのオタマジャクシを観察することができました。

またベニマンサク湖のほとりに建てられた自然観察センターには自然に関する本や図鑑が取り揃えられ、自由に見る事ができます。センターには管理人が常駐し、来訪者の質問に答えてくれます。気さくな管理人さんとの会話も楽しいものでした。

10月下旬から11月上旬にかけてはベニマンサクの紅葉が見られるとのこと。モミジもいいけど、今年はぜひ大野自然観察の森に出かけてみてはいかがでしょうか。

定休日 月曜日(祝日の場合は翌日)
営業時間 9:00~16:30
お問合せ 0829-55-3000

入場無料!



たくさんの生物が観察できるモリアオガエルの池



ハート型が可愛いベニマンサクの葉

情報部主催!

デジカメ講座開催報告



9月7日、21日の両日、情報部主催のデジカメ講座を行いました。講師にカメラのサエダより社員の東氏、榊原氏をお招きし、約20名が受講しました。一回目は基本機能の意味や使い方、また構図の取り方や撮ったデータの扱い方をわかりやすく教えていただきました。二回目には前回習った機能を活用して撮った写真を持ち寄り批評し合うなど、参加者同士の交流も見られ、とても充実した講座となりました。

次回のフォトコンテストの応募作品に期待しています。



お問い合わせ先 廿日市市市民活動センター
廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

ネットワーク現在の状況
(平成23年9月末現在)
登録団体 181 団体

さくらdeファミリー

運営協議会トピックス

ネットワーク機能を生かした「提案型連携事業」3事業を決定しました!!

運営協議会では、市民活動センターが持つ機能のうち「ネットワーク機能」を生かした事業として、市民活動センターに集う団体同士がつながることを目的に、今年度新しく「提案型連携事業」を企画し、募集しました。

8月31日で締め切り、全部で8つの事業が提案されましたが、9月8日(木)のプレゼンテーションで審査した結果、助成を決定した事業は次の3事業となりました。

団体名	事業名	事業の内容やねらい
代表団体 青少年育成廿日市市民会議	家族そろって歌合戦	青少年が心豊かに、心身共に健康に育つための基盤である「家族」に着目、改めて「家族」について考える機会としたいと思います
連携団体 廿日市市文化協会 廿日市市合唱連盟		

代表団体 青少年夢プラン実行委員会	ヤングフェスティバル 青少年夢☆計画 '11 「エコクイズブース」	環境問題を考える場として参加型のクイズやエコチェックなどブース出展し、青少年と連携してフェスティバルを盛りあげます!
連携団体 地球温暖化対策はつかいちさくら協議会		

代表団体 はつかいち「青少年健全育成」新聞 しゃぼん玉発行委員会	生涯学習フェスティバル 「しゃぼん玉広場」の開催	「しゃぼん玉新聞」の創刊にちなんで、しゃぼん玉を楽しむブースを設置、子どもたちの夢が膨らむようにしゃぼん玉を飛ばします。
連携団体 廿日市市PTA連合会 はつかいちレクリエーション協会		

～プレゼンテーションの様子



◆◆◆ その他の応募団体 ◆◆◆

- はつかいちレクリエーション協会 & 廿日市市国際交流協会
外国人親子と一緒に楽しめる親子居場所づくり(オープンスペース)
- 廿日市市郷土文化研究会 & 廿日市地区コミュニティ推進協議会 & 廿日市商工会議所女性会
廿日市桶寿司と歴史探索
- 地御前地区コミュニティ推進協議会 & 地御前町内会連絡協議会 & 公衆衛生推進協議会地御前地区
大型ゴミ搬出支援事業
- NPO法人ふくし文化塾はつかいち & はつかいち壮年チーム
東日本大震災被災地福祉支援活動
- キッズNPO & さいき音楽劇
伝えたい素敵な日本の言葉

★ 今回の8つの事業について詳しい内容はセンターのホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

今回は、助成を受ける団体と、受けられない団体がありますが、これらの事業は、市民活動センターが持つ機能の「情報収集・提供機能」を生かし、開催日のご案内や活動報告などをして、皆さんに広くお知らせし応援をしたいと思っています。今後の活動をお楽しみに!!

マンスリーDVDからのお知らせ

今、センターホームページでは、「栗栖神楽団の次世代への伝承」と「地御前地区の自主防災会の取り組み」を動画配信しています。また、この号でご紹介した「宮島・たのもさん」の様子を近日アップいたします。

サロン扇園

扇園町内会の高齢者の相互の親睦、健康、福祉に努め、明るい集いを目的として平成17年に発足し、6年目を迎えます。皆さんの意見を聞きながら、四季の行事、お茶会、ギター、グランドゴルフ、詩吟、手芸、体操、フラダンス、民謡等、町内会の方にお互いの講師（先生、多芸の方が多くおられるので）となってもらっています。知らなかった面も多くあり、より顔見知りの近所づきあいが出来て関係も深まっています。

7月はJA広島総合病院の先生に関心のあるサプリメント、薬の飲み合わせ等のお話を聞きました。知らない事がありたためになったとの声が多くありました。9月はフラダンス、ギター体操（毎回します）、10月、11月は「もしもの事があったら」と題しエンディングノート作り、12月は手作りプレゼント、昼食等、お楽しみクリスマス会を行う予定です。

楽しく、学べる集いを心掛けています。

日時：毎月第2木曜日（1月と8月はお休み）
13時～15時（4月、12月は12時～14時）
場所：扇園集会所（見学、花見等外出あり）
会費：100円
連絡先：村山邦栄 0829-36-1109



ボランティアサークルたんぽぽ「いこいの家」

設立以来28年となるボランティアサークルたんぽぽの活動の一環で、在宅援助活動を通して得た出会い、体験、実績を通して活動をしています。介護者の負担の軽減と歳をとっても家にこもらないように、また、困難を抱えた高齢者も気楽に利用できるように、利用者・協力者の別なく一緒に集い心を通い合わせることでお互いさまの生きがいづくりをしています。遠方からの参加者、お身体のご不自由な高齢者には送迎の相談に応じます。

懐メロ・詩吟・手作業・レク・リハビリ体操、調理ボランティアさんによる、温かい手作りのお食事での会食会、お花見・バスハイク・温泉・梨狩り・ブドウ狩りにも出かけます。認知症の方、また、その家族のみなさんとの出会いも大切にしています。利用者・協力者、いつでもどなたでも参加可能です。青少年や一般の見学者、知的障がい児（者）の受け入れも行い、良き世代交流の場にもなっています。毎回35～45名の参加者が集り、わきあいあいと活動しています。



日時：毎月第2・第4金曜日
10時～15時半
場所：あいプラザ・市民活動センター
会費：600円（食事代他）
連絡先：吉富 0829-39-7268
（FAX兼）

草 元気のでる広場



日時：毎月第3水曜日
9時半～13時
場所：中央市民センター大ホール
会費：400円（弁当代）
連絡先：林 信子（代表）
0829-32-5912

平成3年に中央公民館に廿日市市社会福祉協議会がお年寄りの居場所作りとして立ち上げ、平成5年に「元気が出る広場」として独立しました。いくつになっても心も身体も元気で暮らそうという思いで命名し、お年寄りの集まる広場として利用してもらっています。当初は徒歩圏内の高齢者を対象とし、スタッフ、参加者を募集し、約45名が集まり始動しました。現在は平均35名で、月に1回の活動をしています。

活動内容は民謡クラブの発表や子どもたちとの交流、手作り弁当での食事会、小旅行などを行っています。特徴としては、サロンとしては珍しく隣近所の範囲ではなく、廿日市地区の中心部を範囲としています。各方面から広範囲の方々が参加出来るので交流範囲も広がると好評です。中には20年間皆勤賞で、今年93歳になる女性の方もおられます。今後も活動を続けていきますので、参加をお待ちしています。

ネットワーク団体紹介

しりあっChaO

わがまちの



知恵袋

宮内

北山老社会

私たち北山老社会は、廿日市市宮内北山一、二区の地域で老人会として地域との交流、会員相互の親睦等目標に頑張っております。お茶会（サロン）を開き、物作り、健康体操などを楽しく行っています。また町内会行事には積極的に参加し、月1回（第2水曜日）は地域の公園、神社等の清掃活動をやっております。地域の美化運動として老人会の花壇を作って、季節の花を植えて管理しております。

市民活動センターにお世話になり4～5年になると思いますが、まだ、活動期間、経験も未熟な老社会ですが、他クラブの活動を参考にしながら、会としての活動も充実、定着するように頑張りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



廿日市市老人クラブ連合会

老人クラブは入会を希望する高齢者でおおむね60歳以上の方を会員として、地域を基盤とする自主的な組織です。廿日市市老人クラブ連合会は廿日市市の5地域に各支部があり、単位クラブは131、会員は7200人になります。

老人クラブは個々の「単位老人クラブ」を基礎組織として市町村ごとに「市町村老人クラブ連合会」さらに中央に「全国老人クラブ連合会」を組織して活動を行っています。全国三大運動が『健康、友愛、奉仕』です。『健康』は自らと地域の健康づくり、『友愛』は友づくり・閉じこもり予防のためのサロン活動などです。『奉仕』は市域貢献活動で子どもの登下校の見守り・学校行事への参画などです。

近年では介護保険制度の導入に伴い、介護予防と相互の生活支援など、将来介護が必要となりそうな高齢者に対して、脳・筋力・栄養などに関する予防事業を行っています。全体行事としては、カローリング大会などのスポーツや、芸能大会・研修会・地域指導者講習会を行っています。

行政、学校、市民センター、子ども会、町内会との協働により、地域づくりの中核を目指し、自信と誇りを持って望んでいます。

代表：難波智雄
連絡先：事務局・石野 0829-31-5777
場所：廿日市市民活動センター3階308
事務局活動日：毎週火曜・木曜 10時～16時



今・佐伯地域のサロンが熱い！

誰でも気軽に寄りあえる、ここでは誰でも「お互い様」。佐伯地域では、まちづくりワークショップの中で出されたアイデア「一町内ーサロン」がいろいろなところで花開いています。

サロンの内容は様々、フラダンスを踊ったり、ゲームをしたり、映画を見たり、手芸をしたり…。それぞれの集まったみなさんのやりたいことが、その日のプログラムです。「この地域は一人で生活されている人も多いため、集まる場を作りたい」とある世話人さん。小さな声で「自分のためにもね」。

夏休みには、近所の子どもたちも参加。世代を超えて、笑顔とおしゃべりで和やかに時間が流れていきます。

社協では、サロン立ち上げのお手伝いや、レクリエーション用具の貸し出し、運営資金などの支援を行っています。ぜひご相談ください。



ご近所の子どもさんと…
（ふれあい花上）



参加者にこんな名人さんが…
ハーモニカ演奏の達人
（上組ふれあいサロン）



グレックスで楽しみます
（指原・泉水ふれあいサロン）

【問合せ】
廿日市市社会福祉協議会佐伯事務所
廿日市市津田4109
（佐伯社会福祉センター内）
電話 0829-72-0868
FAX 0829-72-1005
E-mail saiki.sk@crest.ocn.ne.jp
担当：梅本